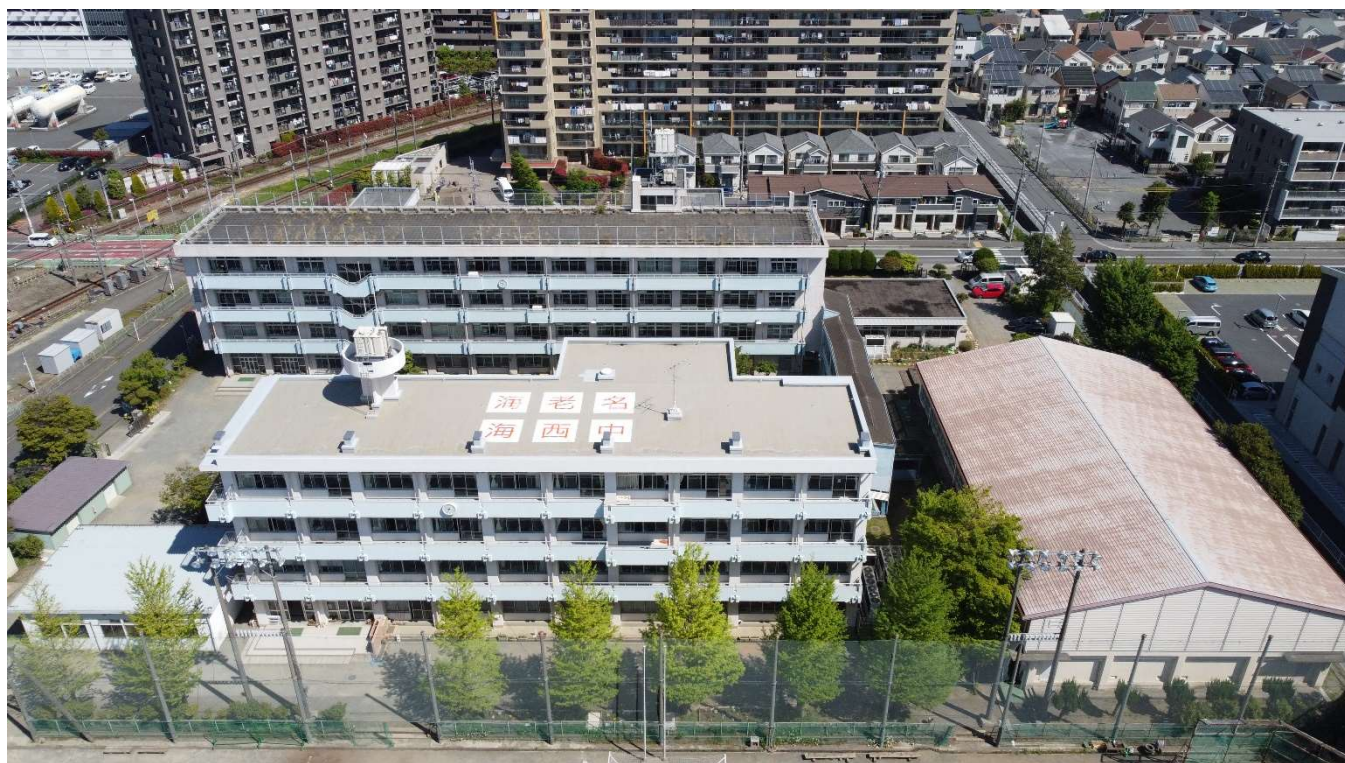


**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立海西中学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

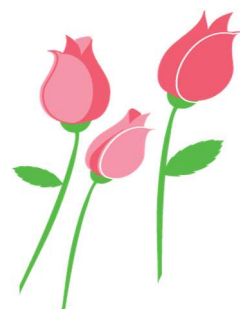
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができています。
- 行書の特徴を理解しています。

◆課題のある点

- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題があります。
- 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 論説文の学習において、図との関連を考えさせていきます。
- 自分の考えを、表現効果などを考えながら描写する練習を取り入れていきます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 全領域、全観点、全問題形式において、平均正答率は、全国及び神奈川県を上回っています。
- 確率を求めること、箱ひげ図の扱いを、よく理解しています。
- 方程式の計算、一次関数の式とグラフの関係について、よく理解しています。
- 正三角形の辺や角の性質を根拠として、三角形の合同を記述式で証明することがよくできています。

◆課題のある点

- 数字の並びから、その規則性を予想し、それを説明することに課題が見られます。
- 見慣れない問題を考えることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 2年次より習熟度別少人数授業を行っていますが、個々の指導の在り方、理解を深めるための指導方法などを研究し、よりよい授業を進めていけるように努めます。
- 知識の習得や計算のスピード、正確性だけを追い求めるのではなく、問題を解決するために、方針を立てたり、筋道を立てて考えたりすることで、より深く学ぶ力が身につくように指導していきます
- 様々な課題にチャレンジする機会を設け、いろいろな方向から思考できる力が育つように指導していきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○教科の学習内容を自己表現や身の回りの日常につなげる意識を持つ生徒がたくさんいます。
「国語の授業で自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて文章を書いているか」「数学で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えているか」「自然の中や日常生活において理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりすることがあるか」「スピーチやプレゼンなどまとまった内容を英語で発言する活動が行われたか」などの質問項目において、全国平均と比較して肯定的な回答が多い結果となっています。言語に関しては、学習した内容を効果的に相手に伝える工夫を意識しており、自然科学的な内容においては、身の回りのものと関連付けるように意識している生徒が多いです。

◆本校の課題と思われるところ

○ICT機器を効果的に学習に活用する取り組みが求められています。
「1. 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問において、「週3回以上」と答えた生徒が 57.7%(全国平均-6.7)でした。昨年度(令和5年度)の同項目 12.3%(全国平均-48.8)と比較すれば全国平均に近づいていますが、今後もさらなる活用を研究推進していきます。

生活について

◆本校のよかったところ

○平日の学校にいる時間以外や土日など休みの日に勉強時間を確保している生徒が多いです。
平日は 73.8%(全国平均+9.5)、休日は 48.0%(全国平均+11.8)の生徒が、学習塾や家庭教師、インターネットなどの活用を含めて1時間以上の学習時間を確保しています。また、「全くしない」という回答も全国平均より大幅に下回っています。学校以外の学習に取り組む時間(予習や復習など)を日常生活の中にきちんと入れることが、学習内容の理解を深め定着につながる重要なところですので、この生活のリズムをくずさないことが大切です。

◆本校の課題と思われるところ

○携帯・スマホの使用に関して課題があります。
「平日に1日当たりどのくらい携帯やスマホでSNSや動画視聴をするか」という質問に1時間以上と回答した生徒が 24.3%(全国平均+7.7)います。上記にあるように学習時間も確保していることを鑑みると、このSNSや動画視聴をしている時間の分だけ睡眠時間が削られているのではないかと懸念されます。

今後の具体的な取組について

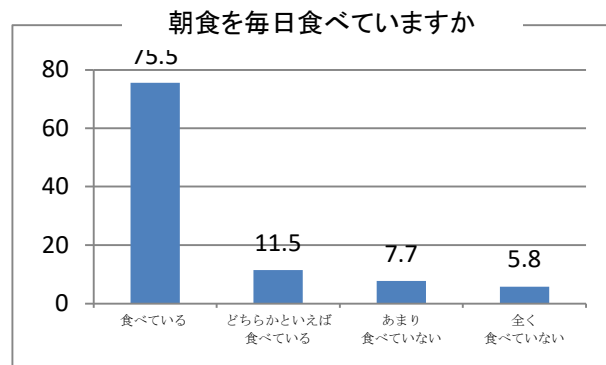
○学習活動における1人1台端末の効果的な活用に関して、引き続き研究と実践を進めていきます。
○頑張るところは頑張らせるとともに、頑張りすぎないようにきちんと休むところは休むようなリズムを生徒たちが自ら考えていくことができるよう、家庭と協力して働きかけていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

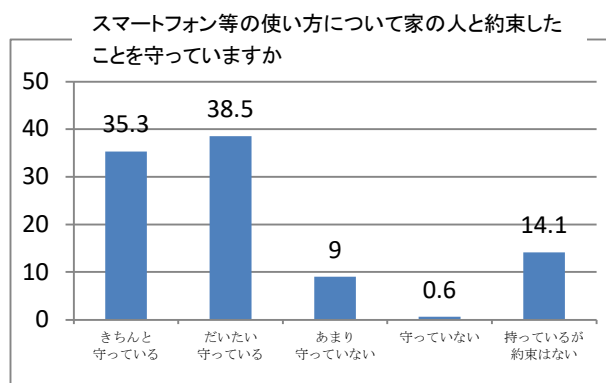
1 朝食を食べましょう。

朝食を「あまり食べていない・全く食べていない」人が約13.5%(20人強)います。午前中のエネルギー源ですので、空腹状態では学習等の効果も十分に得られない可能性があります。



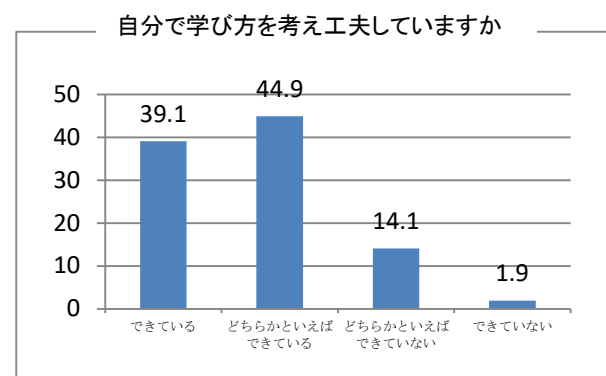
2 スマートフォン等の使用ルールの再確認をしましょう。

「約束はない」と回答している生徒が14.1%いる点が気になります。「あまり守っていない・守っていない」と合わせると23.7%となります。保護者の契約のもとで使用をしていることをご家庭でも再確認していただければと思います。



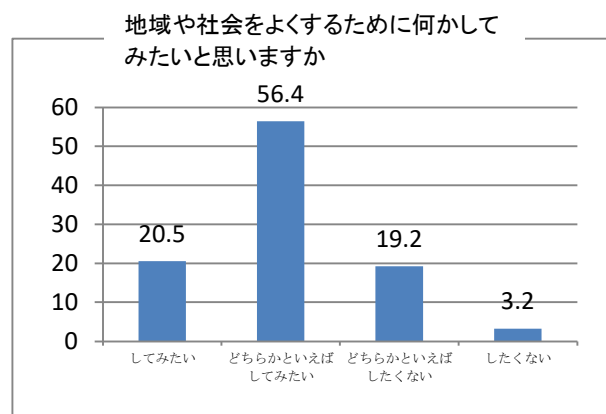
3 主体的な学びの工夫を継続しましょう。

わからないことや知りたいことに対して、自ら学び方を考えて工夫をしている生徒が多く見られます。これからもデジタルコンテンツとアナログコンテンツを上手に使いながら「主体的に学ぶ」姿勢を継続していきましょう。



4 地域や社会のことを話題にしましょう。

新型コロナウイルス感染症が5類になり、地域の行事などが戻ってきました。社会活動も対面・集合の形に戻っているものが増えています。家族や学校からさらに一歩踏み出した「地域・社会」に目を向ける機会を増やしていきましょう。



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

《①授業改善の実践》

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組めます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919